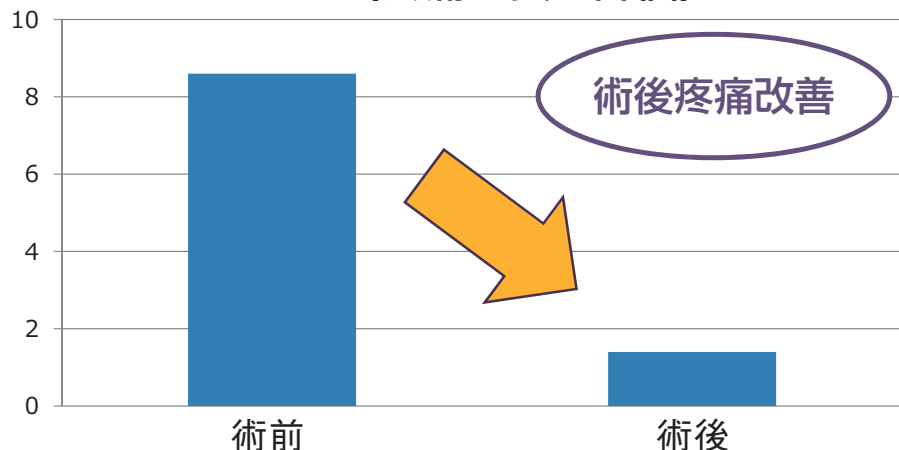


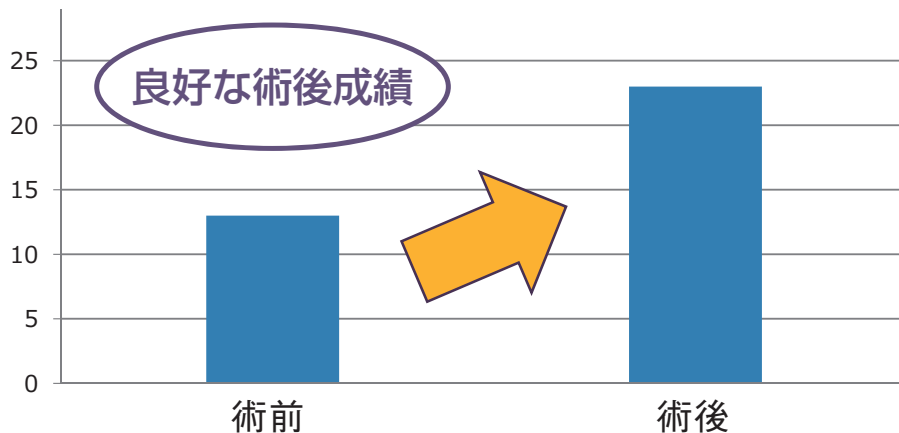
クリニカルインディケータ

腰部脊柱管狭窄症に対する手術療法の治療成績

VAS(疼痛を表す評価)



JOA score(治療成績判定基準)



2016年度は

腰部脊柱管狭窄症に対して84症例

腰椎後側弯症に対して15例

腰椎破裂骨折に対して4例

腰椎部悪性腫瘍に対して5例

の手術療法を施行しております。

手術方法は、

腰椎後方除圧術42症例

腰椎後方除圧固定術(スクリュー等のインプラントを使用)21症例

前方側方からの椎体間固定術が36症例でした

前方側方からの脊椎矯正手術が14例

悪性脊椎腫瘍に対する根治手術が5例

平均年齢は65.7才(38-88才)で、75才以上の方が24名(全体の22.2%)いらっしゃいました。

疼痛を表すVisual Analog Scale (VAS) は、手術により平均83.7%改善しております。

また治療成績の判定基準であるJOA scoreは、手術により平均43.5%改善しております。

術前検査による適切な診断と手術計画により、良好な術後成績が得られています。